

No.252

2021年  
9月号

# さくら

図書館だより

(編集・発行)

宿毛市立坂本図書館  
〒788-0001

宿毛市中央二丁目7番14号

☎ 0880-63-2654

FAX 0880-63-0155

## 展示のご案内

展示期間 9月22日(水)まで

★メイン展示

### 『敬老の日 読書のススメ』

9月に入り季節は秋へと移り替わってきました。スポーツの秋、食欲の秋、そして…読書の秋!! ということで、秋の夜長に読書を楽しんでみてはいかがでしょうか。

今回の展示は、

- ・おじいちゃん、おばあちゃん大好き!
- ・長生きの秘訣
- ・人生の先輩に聞く

という3つのコーナーを用意しました。



●メイン展示図書(抜粋)

「ハッピーシニアの参考書」「コロナエクササイズ」  
 「ピンピンコロリ体操」「食こそ最高の薬になる」  
 「70歳のたしなみ」「筋肉・肌・目・耳の若返り健康法」  
 「おじいちゃんの手」「おばあちゃんのたんじょうび」

★サブ展示

### 『動物LOVE』

9月20日から26日は動物愛護週間です。犬や猫はもちろんのこと、その他の動物の本も集めてみました。



●サブ展示図書(抜粋)

「くらべてわかる! イヌとネコ」「獣医師の一日」  
 「SATOUMI生き物図鑑」「かわいいミニペットの飼い方」  
 「鳥のフィールドサイン観察ガイド」「とりほん」

### 知っていますか? 坂本図書館!!

図書館には点字図書や文字の大きな大活字本、文字を大きくする拡大機等がございます。

一度手に取ってみてはいかがでしょうか。また、目が見えない方のために対面朗読も予約制で行っております。お近くにお困りの方がいらっしゃいましたらお声をかけていただき、図書館へご連絡ください。



# 読んでみませんか？

## -新着図書のご案内-

(一般)

### 知られざる古墳ライフ

譽田亜紀子 著  
誠文堂新光社

3～7世紀、およそ350年続いた古墳時代。その時代の人々にとって古墳とはどのような存在だったのでしょうか？

本書では古墳の紹介だけにとどまらず、古墳人のすがた・暮らし、時代背景にスポットを当てながら考察していきます。そこには「お墓」としての古墳だけではない、違った一面が見えてきます。

私たちが想像する以上にドラマティックで激動の古墳時代。読めば古墳の見方が変わります！

(児童)

### ふしぎ！光る生きもの大図鑑

近江谷克裕・小江克典 著  
国土社

夜、幻想的に光るホタル。その光は、求愛行動だと知っている人は多いでしょう。

他にも、クラゲ・ウミホタル・ミミズ・ムカデにきのこなど、海や陸にもたくさんの光る生きものがいます。

この本は、その生きものがなぜ光るのか？どうやって光るのか？など、光る生きもののふしぎを写真とともに教えてくれる一冊となっています。

ふしぎで美しい光る生きものの世界をのぞいてみるのはいかがでしょう。

(一般)

### 硝子の塔の殺人

知念実希人 著  
実業之日本社

山奥に建つ円錐状の硝子の尖塔は、まるでミステリ小説の舞台を彷彿とさせる特殊な館。そこへミステリを愛する館の主人の呼びかけで、個性的なゲストが揃う中、次々と起こる殺人事件。

二転三転と予想をことごとく上回る真相と怒涛の展開。全てをひっくり返してくるような驚きの結末、果してあなたは予想できるのか！？

(児童)

### おまつりのおぼけずかん

斉藤洋 作/宮本えつよし 絵  
講談社

おまつりには、怖いおぼけがいっぱい！おまつりで買ったわたあめに、もし人の顔が写っていたら、それは人面わたあめ。絶対に食べてはいけません。かといってすぐ捨てるのもダメです。

楽しいおまつりにも、怖いおぼけがいるかもしれません。一人では行かずに、友だちや家族の人たちと行ってね。

小学生に人気の『おぼけずかん』シリーズの最新刊！

※この本の紹介文は、スタッフが書きました。

## 「安藤桃子さんの講演会」 山下量子

先日、宿毛市市民講座にて映画監督 安藤桃子さんの講演「全てが主人公！～映画の視点から見た世界～」が行なわれた。

宿毛映画塾の一期生であり、その時に監督を初めて体験させてもらった私には、是非とも聞きたい内容である。

講演当日、早々と購入しておいた入場券を手、会場に足を運んだ。

安藤桃子さんの経歴は知れば知るほどすごい。母方の曾祖父は戦前の首相の犬養毅で、父は俳優や映画監督をされている奥田瑛二さん、母は女優の安藤和津さん、妹は女優の安藤サクラさん。高校時代よりイギリスに留学し、ロンドン大学芸術学部を次席で卒業。その後、ニューヨーク大学に進学し、映画作りを学んだという華やかな経歴を持つ。

正直、こんなにすごくて頭脳明晰な人、関わりにくいだろうなあと思っていたら、桃子さんが壇上に立つなり、私のその思いは一変した。

「このコロナ禍にも関わらず、集まってくれて本当にありがとう」と、私たち聴衆に向けて心をこめて頭を下げてくれる姿は、全く飾りっ気が無い。

素朴で真摯で、笑顔が素敵で、私は一目で、そんな桃子さんが大好きになった。

そして、高知に移住する際に「高知と結婚するつもり」で来られたというその思いに、高知県民として、じ～んとしたのだった。高知の良さを分かってくれて、そして来てくれてありがとう。心からそう感じた。

そして、桃子さんの話は、たくさん大切なことを思い出させてくれた。

億万長者でお金があっても幸せで無い人がいる。幸せとは何なのだろう。自分にとってのHAPPYとは？

それを、このコロナ禍だからこそ、自身に問う、深く問う機会なのではないかと。

確かに、コロナ禍だからこそ、観光客は来ない、収入も減る、出来ないことが沢山ある。けれど、だからこそ、臨機応変に、前に進むこと、新しい在り方が必要なのでは無いか、とそう思った。

私は、悩むことには、悩んで良いことと悩んでも意味が無いことがあると思う。悩んでも意味が無いことは、自分がどうすることも出来ない事だ。まさにコロナ禍の影響、それによる経済の打

撃。それはどうすることも出来ない。どうにか出来る事があっても、限られている。大きな流れには勝てない。

ならば私たちに出来ることは、その状況をまず受け入れることなのだと桃子さんの話を聞いて思った。

外に価値を見いだす限り、それは減っていくし、足りなくなるという欠乏になると。けれど心に関しては、減るものがない。だるま夕日1つでも幸せを感じられる。満ちた気分が味わえる。だから今は、外に外に向かっていったものを方向転換し、自分の内に戻す時代なのではないかと桃子さんは続けた。

本当にそうだと思った。

コロナ禍の前には、私は必要かどうかも分からないものに時間を振り回されていた。心を亡くすと書いて、忙しいと書くが、時間に追われている時は、自分の内面の豊かさとは到底、程遠い所にいた。

いま、コロナ禍の影響で、オンライン化が進み、移動時間が大幅に節約できた。その分、出来た時間で、家族との会話が増えた。本を読む時間や、見たかった映画を自宅で見る時間も出来た。睡眠時間も増えた。

ひょっとして、今の私のほうが、人間らしく生きているのかもしれない。

ひょっとして、今までの私は、外に出ることに価値を置きすぎて、自分や家族に向くということを忘れてしまっていたのかもしれない。

ひょっとして、今までは、お金を稼ぐということに囚われて、お金がなくとも豊かに暮らそうと思えば暮らせることを知らずにいたのかもしれない。

そう思うと、今のステイホームの時期は、人々にとって苦でしかないと捉えていたが、とても大切な時期に思えてきた。

その視点。その考え方や意識の方向転換こそ、桃子さんがおっしゃりたかった事なのかなと感じた。

いつまでもコロナのせいには出来ない。いつまでも誰かのせいには出来ない。自分の時間を、自分の在り方を少しでもHAPPYにするのは、自分では出来ない。

自分の幸せに自分が責任を持つ。そしてそのために今できることをする。外側の価値に依存せず心を豊かに保つ。今、目の前に当たり前に有るものへの感謝を忘れない・・・。

それがこの時代を生き抜く秘訣なのだと感じた。素晴らしい講演だった。

## ～新着図書のご紹介～

### 一般図書



- |   |                                   |          |
|---|-----------------------------------|----------|
| 0 | 「神メモ」                             | 原邦雄      |
| 1 | 「アイデア想起メガネ」                       | 郭水泳      |
| 2 | 「特攻隊員と大刀洗飛行場」                     | 安部龍太郎    |
| 3 | 「咲くやむくげの花」                        | 大澤重人     |
| 3 | 「図解でわかる改正民法・不動産登記法の基本」            | 岡信太郎     |
| 3 | 『「赤ちゃんってどうやってできるの？」にきちんと答える親になる!』 | のじまなみ    |
| 4 | 「時間の日本史」                          | 佐々木勝浩    |
| 4 | 「極端豪雨はなぜ毎年のように発生するのか」             | 川瀬宏明     |
| 4 | 「最新の遺伝子検査でわかったアトピーが消えるたった一つの方法」   | 本間良子     |
| 5 | 「暮らしが変わる時短家事」                     | かおり      |
| 6 | 「観て楽しい育てて美味しい野菜の再生栽培」             | 大橋明子     |
| 7 | 「勝負魂」                             | 古賀稔彦     |
| 8 | 『「育ちのいい人」が使っている添えるだけの1行文』         | 井垣利英     |
| 9 | 「九十八歳。戦いやまず日は暮れず」                 | 佐藤愛子     |
| 9 | 「うそをつく子」                          | トリイ・ヘイデン |
| 9 | 「赤ずきん、旅の途中で死体と出会う。」               | 青柳碧人     |
| 9 | 「みとりねこ」                           | 有川ひろ     |
| 9 | 「貝に続く場所にて」                        | 石沢麻依     |
| 9 | 「バスクル新宿」                          | 大崎梢      |
| 9 | 「彼岸花が咲く島」                         | 李琴峰      |

※左側の数字は図書の分類を表しています。  
0...総記、1...哲学、2...歴史、3...社会科学、4...自然科学  
5...技術、6...産業、7...芸術、8...言語、9...文学

### 児童図書



- |                        |          |
|------------------------|----------|
| 「子どもテツガク」              | 小川仁志     |
| 「東大教授がおしえるさらに!やばい日本史」  | 本郷和人     |
| 「世界のことわざ」              | 時田昌瑞     |
| 「おうちでできるオモシロ実験!」       | 市岡元気     |
| 「ふしぎ!光る生きもの大図鑑」        | 近江谷克裕    |
| 「なぜなのパパ?」              | きたざわきょうこ |
| 「自分の好きを形にするハンドメイドBOOK」 | こうじょうちょー |
| 「目でみるアスリートの図鑑」         | 稲葉茂勝     |
| 「ふしぎ文房具店の八雲さん」         | 小川慧      |
| 「サステナブル・ビーチ」           | 小手鞠るい    |
| 「竜とそばかすの姫」             | 細田守      |

### 絵本



- |                 |               |
|-----------------|---------------|
| 「くろねこのほんやさん」    | シンディ・ウーメ      |
| 「秋」             | かこさとし         |
| 「いちにちだじゃれ」      | ふくべあきひろ       |
| 「まーるいまーるい」      | せなけいこ         |
| 「エリンとまっくろ岩のひみつ」 | ジョー・トッド・スタントン |
| 「ことりのおまじない」     | おおなり修司        |
| 「きんたろうようちえん」    | やぎたみこ         |
| 「宿題ファイター」       | よしながこうたく      |
| 「ふしぎな月」         | 富安陽子          |

★このほかにもたくさんの図書が入っております。  
図書館ホームページでは、月ごとの新着図書一覧を公開しておりますので、そちらもぜひご覧ください。

### 9月の休館日

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

### 10月の休館日

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

開館日時 火～金 10:00～18:30 土・日 10:00～18:00 ■ は休館日  
 ホームページ <https://www.city.sukumo.kochi.jp/docs-25/p010805.html>  
 メールアドレス [tosyo@city.sukumo.lg.jp](mailto:tosyo@city.sukumo.lg.jp)